

平成18年度決算報告書

(単位:百万円)

区分	予算	決算	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,819	16,819	0	
補助金等収入	295	255	△ 40	
自己収入	26,560	25,807	△ 753	
(内) 授業料・入学科・検定料	5,227	5,212	△ 15	
附属病院収入	20,658	20,126	△ 532	(注1)
その他	675	469	△ 206	(注2)
受託研究等収入	231	338	107	(注3)
寄附金収入	529	527	△ 2	
長期借入金収入	1,815	981	△ 834	(注4)
計	46,249	44,727	△ 1,522	
支出				
教育研究経費	4,913	4,800	△ 113	(注5)
診療経費	12,885	12,129	△ 756	(注6)
人件費	25,207	24,463	△ 744	(注7)
一般管理費	1,199	1,022	△ 177	(注8)
受託研究等経費	230	266	36	
施設・設備整備費	1,815	981	△ 834	(注4)
計	46,249	43,661	△ 2,588	

※ 基金については、大阪市より2,782百万円移管され、翌年度に2,745百万円を繰り越す

○予算と決算との差異について

(注1) 診療単価の増はあるものの患者数の減により、予算額に比して決算額が532百万円減少しております。  
なお、大阪市から譲渡された診療債権1,103百万円は含めておりません。

(注2) 預り金を予算計上していたことなどにより、予算額に比して決算額が206百万円減少しております。

(注3) 受託研究、受託事業の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が107百万円増加しております。

(注4) 経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が834百万円減少しております。

(注5) 経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が113百万円減少しております。

(注6) 委託内容の見直しや経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が756百万円減少しております。

(注7) 人員の減少や給与改定をおこなったことにより、予算額に比して744百万円減少しております。

(注8) 経費節減に努めたことにより、予算額に比して177百万円減少しております。